

研究タイトル：

子どもの読書活動を支援する空間に関する研究

氏名：	前田 博子／MAEDA Hiroko	E-mail：	hiroko@toyota-ct.ac.jp
職名：	准教授	学位：	修士(家政学)
所属学会・協会：	日本建築学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 日本図書館情報学会, 日本図書館研究会		
キーワード：	図書館, 子ども, 学校図書館, 子ども図書館, ワークショップ, 手づくり絵本		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の改善計画 ・図書館の建築計画 ・町の景観の今昔を感じる絵本づくり(ワークショップ) 		



研究内容：

将来を担う子どもたちに社会は何をすべきでしょうか。彼らが豊かにたくましく生きていくための力を育む環境を整えることは、その1つです。「読書」は自ら考え、想像し、そこから創造するための力を育てます。子どもたちに「読書」の楽しさ、知的欲求を満たす喜びを伝える環境を整えるのは社会の役割の1つです。

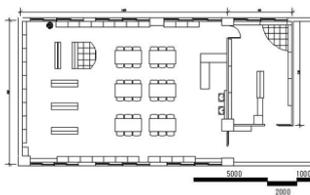
子どもに身近な学校図書館と公共図書館の児童閲覧室や子ども図書館の空間計画について研究しています。

1) 学校図書館の改善に関する実践的研究

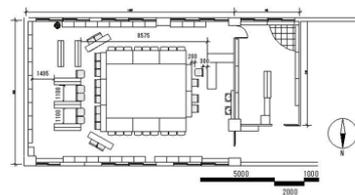
これまでに豊田市立小学校 2 校において、学校図書館の改装を行いました。

◆ A 校での改装

〈改装前〉



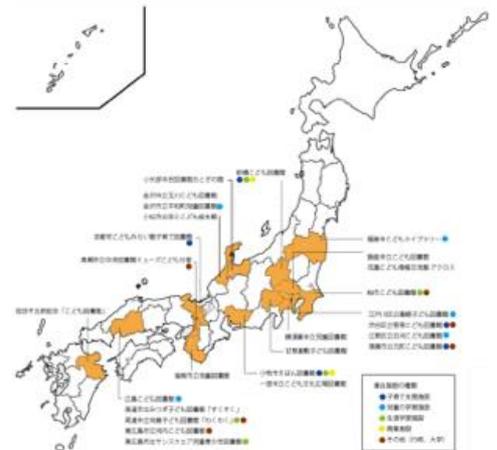
〈改装後〉



児童、先生、図書館司書へのヒアリングやアンケート調査をもとに、レイアウトの変更、書架の高さの変更、カーペットの設置などを行いました。改装後の行動観察調査やアンケート調査から、居心地のよい空間になったことが確認できました。

2) 子ども図書館の複合化に関する研究

2011 年の段階では全国の子ども図書館が 26 館のうち 15 館が他施設と複合しており、複合施設の種類によって 3 つに分類することができました。複合施設との連携を点数化による評価をすると、「児童の学習施設」が最も点数が高く、「子育て支援施設」は空間・設備は充実しているものの連携では点数が低くなりました。公共図書館の児童閲覧室を分離し、同じ建物に他施設を設置しただけにとどまっているといえ、今後は複合施設といかに連携を図るかが運営上の課題であることが明らかになりました。



全国の子ども図書館の分布

3) 絵本づくり WS

絵本づくりをとおして、子どもたちが変わっていく町の景観を知ることができるワークショップを行いました。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	